サポート情報記事

Password Vault でパスワードまたはユーザー名を表示してコピーする方法

2026 © Vitextra SIA. 無断転載を禁じます。

免責事項

本免責事項の適用上、次のとおり定義します。

- **会社** (本免責事項では「当社」と表記します) とは、Vitextra SIA (Matīsa iela 61-25, Rīga, LV-1009, Latvia) を指します。
- **本ドキュメント**とは、ナレッジベースの記事を指します。
- **お客様**とは、本ドキュメントにアクセスする個人、または該当する場合は、その個人が本ドキュメントにアクセスまたは使用する際に代理となっている会社その他の法人を指します。
- **本 Web サイト**とは、https://vitextra.com からアクセスできる Vitextra を指します。

免責事項

本ドキュメントに記載されている情報は、一般的な情報提供のみを目的としています。

当社は、本ドキュメントの内容における誤りや脱漏について、一切責任を負いません。

いかなる場合も、契約上の訴訟、過失、その他の不法行為上の訴訟であるかを問わず、本ドキュメントの内容の使用に起因または関連して生じる、特別損害、直接損害、間接損害、結果的損害、付随的損害、またはその他一切の損害について、当社は責任を負いません。当社は、事前の通知なく、いつでも本ドキュメントの内容に追加、削除、または変更を行う権利を留保します。

誤りおよび脱漏に関する免責事項

本ドキュメントに記載されている情報は、関心のある事項に関する一般的な指針を示すことのみを目的としています。そのため、本ドキュメントの内容を最新かつ正確に保つために当社があらゆる予防措置を講じている場合でも、誤りが生じる可能性があります。また、法律、規則、規制は変化するため、本ドキュメントに記載されている情報に遅れ、脱漏、または不正確な点が含まれる場合があります。

当社は、誤りや脱漏、またはこの情報の使用によって得られた結果について、責任を負いません。

フェアユースに関する免責事項

当社は、著作権者から明示的な許可を得ていない著作物を使用する場合があります。当社は、批評、論評、ニュース報道、教育、学術研究、または調査の目的で、そのような資料を提供しています。

当社は、これが、米国著作権法第 107 条に規定されている、当該著作物の「フェアユース」にあたると考えています。

お客様が、フェアユースの範囲を超えて、ご自身の目的で本ドキュメントの著作物を使用することを希望される場合は、著作権者から許可を得る必要があります。

「自己責任での使用」に関する免責事項

本ドキュメントのすべての情報は、完全性、正確性、適時性、またはこの情報の使用によって得られる結果について何ら保証することなく、また、性能、商品性、特定目的への適合性に関する保証を含むがこれらに限定されない、明示または黙示を問わずいかなる種類の保証もなく、「現状のまま」提供されます。

当社は、本ドキュメントに記載されている情報に依拠して行われた判断や措置、または結果的損害、特別損害、もしくはこれらに類する損害について、たとえそのような損害の可能性について知らされていた場合でも、お客様またはその他の者に対して責任を負いません。

お問い合わせ

本免責事項についてご不明な点がある場合は、メール (support@vitextra.com) でお問い合わせください。

目次

はじめに 4

エントリを展開する 4

PIN コードが必要な操作 5

パスワードを表示する 6

ユーザー名またはパスワードをコピーする 7

URL を開く 8

はじめに

Password Vault の日常的な使い方はシンプルです。エントリを見つけ、サイトやサービスのサインイン フォームにユーザー名をコピーして貼り付け、続いてパスワードをコピーして貼り付けます。この記事では、各手順と、PIN コードが必要になるタイミングについて説明します。

一覧は、保管庫のロックが解除されている間だけ表示されます。一覧の各行には、お気に入り用の星のボタン、エントリの名前、その下にユーザー名が表示されます。長い一覧からエントリを見つけるには、一覧の上にある**検索**ボックスとフィルターを使用します (KB10449. Password Vault でエントリを検索して絞り込むを参照)。

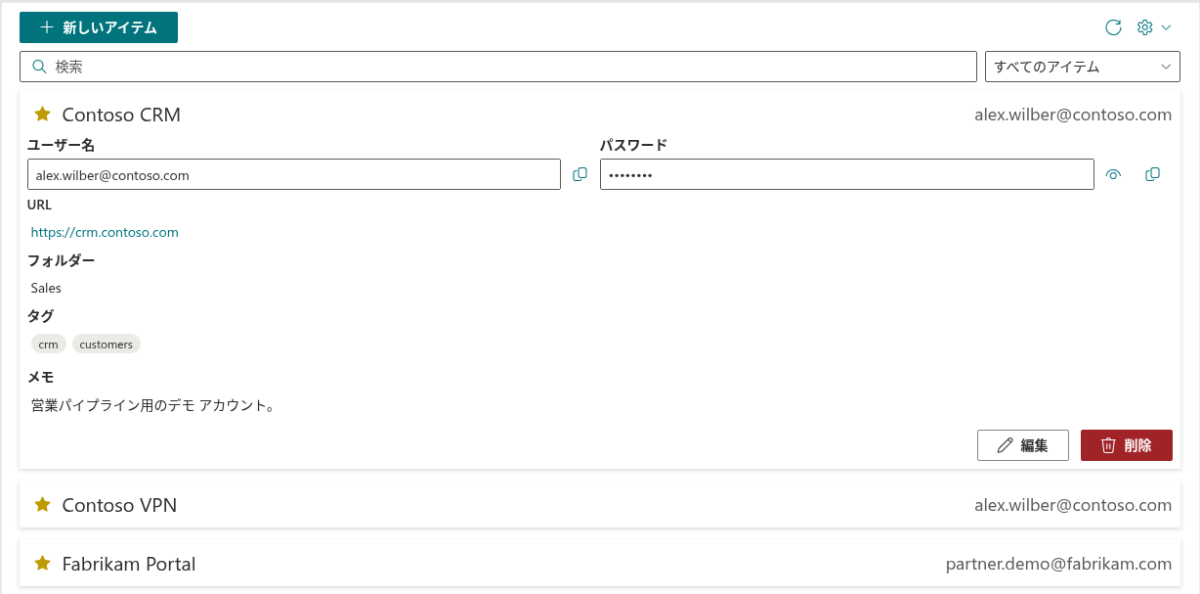
エントリを展開する

エントリの名前をクリックして展開するか、Tab キーでエントリに移動して Enter キーまたは Space キーを押します。もう一度クリックすると折りたたまれます。複数のエントリを同時に展開することもできます。

展開したエントリには、次の項目が表示されます。

- **ユーザー名**: **クリップボードにコピー**ボタン付きの読み取り専用フィールド
- **パスワード**: パスワードが •••••••• としてマスクされた読み取り専用フィールド、目のボタン、**クリップボードにコピー**ボタン
- **URL**: サイトまたはサービスへのリンク (エントリに設定されている場合)
- **フォルダー**、**タグ** (チップとして表示)、**メモ**: それぞれ入力されている場合のみ
- **編集**ボタンと**削除**ボタン (KB10443. Password Vault でエントリを追加、編集、削除する方法を参照)

マスクは、実際のパスワードの長さにかかわらず常に 8 つの点で表示されます。



パスワードがマスクされた状態の展開したエントリ

PIN コードが必要な操作

操作	保管庫のロック中	ロック解除後
一覧を表示し、エントリを展開して、名前、ユーザー名、URL、フォルダー、タグ、メモを読む	いいえ	はい
ユーザー名をコピーする	いいえ	はい
URL リンクを開く	いいえ	はい
パスワードを表示する (目のボタン)	いいえ	はい
パスワードをコピーする	いいえ	はい
エントリを編集または削除する	いいえ	はい

PIN コードが必要なのは、保管庫を開くときの 1 回だけです。保管庫がロックされている間 (ページの読み込み後、自動ロック後、再読み込み後) は、Web パーツにはエントリが一切表示されず、名前も表示されません。一覧の代わりに、「*続行するには PIN コードを入力してください*」というテキストと 4 つの入力ボックスを

含む　**PINコードの入力**画面が表示され、その上には**更新**ボタンだけが表示されます。入力した数字はマスクされます。4 桁目を入力するとすぐに PIN コードが確認され、正しい PIN コードであれば、**新しいアイテム**ボタンと**構成**ボタンとともに一覧が表示されます。それ以降は、PIN コードを再度求められることなく、上の表のすべての操作をすぐに実行できます。

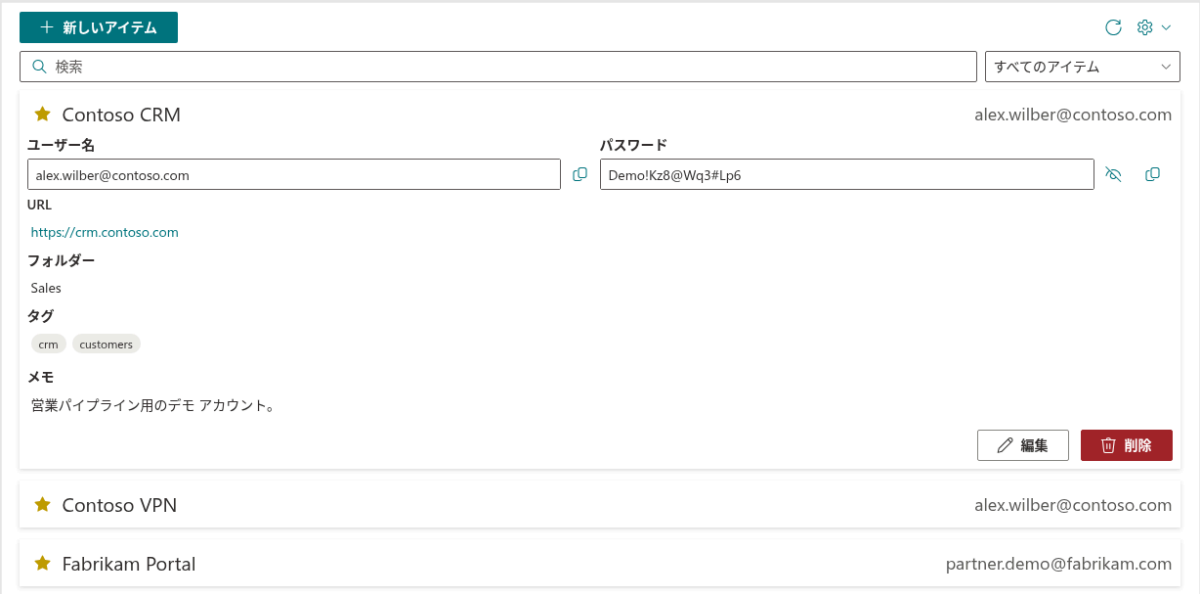
間違った PIN コードを入力すると「*PINコードが正しくありません*」と残りの試行回数（「*残りの試行回数*」）が表示されます。この行は、失敗した試行がある場合に表示されます。ページの再読み込み後や別のデバイスでも表示するには、試行回数が正常に保存されている必要があります。間違った PIN コードが 5 回連続で入力されると、保管庫はブロックされ、リセットすることしかできなくなります。リセットするとすべてのエントリが削除されます。KB10455. Password Vault で PIN コードを誤って入力した場合: 5 回失敗するとどうなるかを参照してください。

PIN コードを入力すると、作業中は保管庫のロックが解除されたままになります。ロックされると一覧は再び非表示になり、**PINコードの入力**画面が表示されます。Web パーツ内でクリックやキー入力が 5 分間ないと、またページを再読み込みすると、保管庫は再びロックされます (KB10451. 自動ロック: Password Vault が PIN コードを再度要求するタイミングを参照)。

パスワードを表示する

1 エントリを展開します。
2 **パスワード**フィールドの横にある目のボタンをクリックします。
3 パスワードがプレーン　テキストで表示され、目のボタンが斜線付きの目に変わります。

もう一度ボタンをクリックすると、パスワードが非表示になります。表示されているパスワードは、保管庫がロックされたときにも自動的に非表示になります。

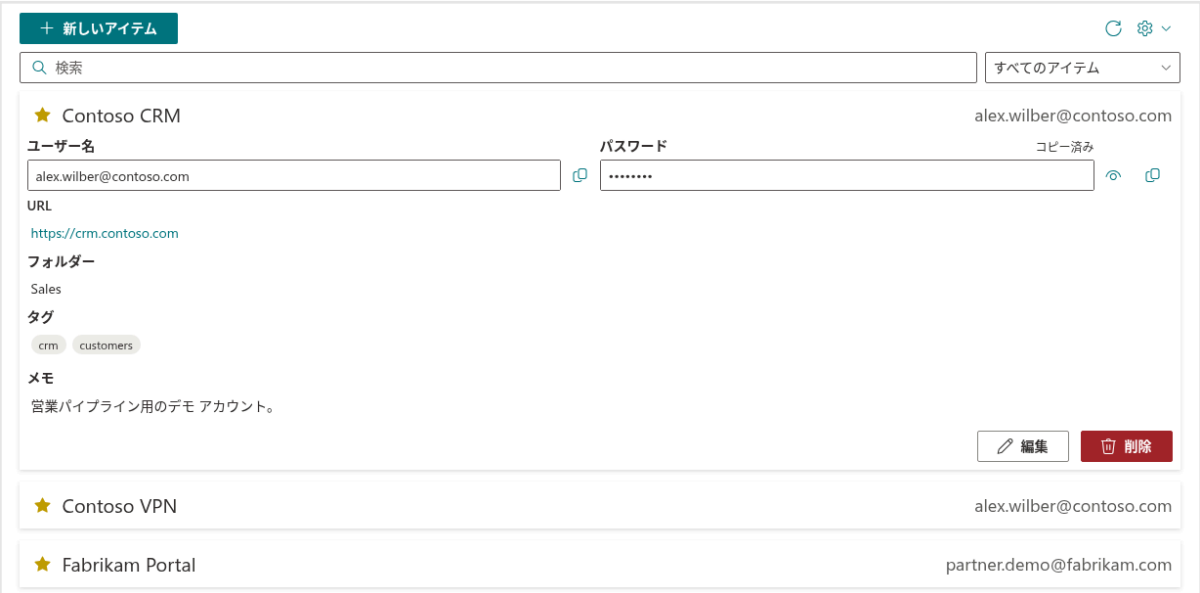


プレーン テキストで表示されたパスワード

ユーザー名またはパスワードをコピーする

- **ユーザー名:** **ユーザー名**フィールドの横にある**クリップボードにコピー**をクリックします。
- **パスワード:** **パスワード**フィールドの横にある**クリップボードにコピー**をクリックします。事前にパスワードを表示する必要はありません。

コピーすると、フィールド名の横に **コピー済み**というラベルが 2 秒間表示されます。その後、いつもどおりサインイン フォームに値を貼り付けます (Windows では Ctrl+V、macOS では Cmd+V)。



パスワードのコピー後に表示されるコピー済みラベル

警告

Password Vault は、コピーした後にクリップボードをクリアしません。パスワードは、別のものをコピーするまでクリップボードに残ります。共有または公共のコンピューターでは、サインインした後に別のテキストをコピーしてください。Windows でクリップボードの履歴 (Windows + V) がオンになっている場合、コピーしたパスワードはその履歴にも保持されます。

URL を開く

エントリに **URL** が設定されている場合、展開したエントリにリンクとして表示されます。リンクをクリックすると、アドレスがブラウザーの新しいタブで開くため、保管庫は元のタブで開いたままになり、戻ってパスワードをコピーできます。メール リンク (`mailto:`) はサインイン ページではなく、設定されたメール アプリで開きます。

- `crm.contoso.com` のようにスキームのないアドレスは、`https://crm.contoso.com` として開かれます。リンクのテキストには、入力したとおりの値が表示されます。
- リンクとして表示されるのは、Web アドレス (`http://`、`https://`) とメール リンク (`mailto:`) だけです。それ以外のスキームの値はエントリに保持され、**プロパティの編集**ダイアログで確認できますが、展開したエントリには表示されません。

ヒント

実用的な手順の例: エントリを展開し、URL リンクをクリックして、ユーザー名をコピーしてサインイン ページに貼り付けたら、戻ってパスワードをコピーします。毎日同じアカウントにサインインする場合は、そのエントリをお気に入りとしてマークすると、一覧の先頭に表示されたままになります。KB10448. Password Vault のお気に入り: よく使うエントリを一覧の上部に表示するを参照してください。

メモ

保管庫のロックが解除されている間は、エントリの名前、ユーザー名、URL、フォルダー、タグ、メモが、画面を見ることができる人なら誰にでも表示されます。ロックされると一覧は非表示になります。コンピューターから離れるときは画面をロックし、メモに機密情報を保存しないでください。誰が何を見ることができるかについては、KB10456. Password Vault のパスワードを見ることができるのは誰かで説明しています。